

年間授業計画

高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科 家庭 科目 家庭総合

教科: 家庭 科目: 家庭総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 7 組

使用教科書: (家庭総合 (大修館))

教科 家庭 の目標:

【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数
<p>1 人生をつくる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解させる。 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理を適切にできるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を育成する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するために実践しようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人生をつくる 家族・家庭を見つめる これからの家庭生活と社会 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解しているとともに、情報の収集・整理が適切にできる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するために実践しようとしている。 	○	○	○	10
<p>1 学 期</p> <p>経済生活を営む</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家計の構造について理解させるとともに生活における経済と社会との関わりについて理解を深めさせる。 生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深め、情報の収集・整理が適切にできるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を育成する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するために実践しようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯の経済生活 家計マネジメント 家庭経済と社会との関わり 購入・支払いのルールと方法 消費者をめぐる問題 消費者の権利と責任 これからの消費生活 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家計の構造について理解させるとともに生活における経済と社会との関わりについて理解を深めている。 生涯を見通した生活における経済の管理や計画、リスク管理の考え方について理解を深め、情報の収集・整理が適切にできる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するために実践しようとしている。 	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>衣生活を営む</p> <p>【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めさせる。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体性と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理が適切に行えるようにする。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身につけさせる。 【思考・判断力、表現力等】 ・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を育む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するため実践しようとする態度を育てる。</p>	<p>・被服の役割を考える ・被服を入手する ・衣生活の文化と知恵</p>	<p>【知識及び技能】 ・衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、身体性と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理が適切に行える。 ・被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身につけている。 【思考・判断力、表現力等】 ・主体的に衣生活を営むことができるよう目的や個性に応じた健康で快適、機能的な着装について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、衣生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するため実践しようとしている。</p>	○	○	○	14	
	<p>子どもと共に育つ</p> <p>【知識及び技能】 ・生活を主体的に営むために必要な子どもと子育てなどの基礎的なことについて理解し、それらに係る技能を身につける。 【思考・判断力、表現力等】 ・子供の健やかな発達を支えるために、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようする力を身につける。</p>	<p>・命を育む ・子どもの育つ力を知る ・これからの保育環境 ・これからの保育環境</p>	<p>【知識・技能】 ・親の役割や保育、子育て支援について理解を深めている。 ・子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するため実践しようとしている。</p>	○	○	○	14	
	定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>高齢社会をともに生きる</p> <p>【知識及び技能】 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身につける。 【思考・判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するため実践しようする力を身につける。</p>	<p>・超高齢・大衆長寿社会の到来 ・高齢期の心身の特徴 ・高齢者の自立を支える ・これからの超高齢社会</p>	<p>【知識・技能】 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するため実践しようとしている。</p>	○	○	○	10	
	<p>共に生き共に支える</p> <p>【知識及び技能】 ・高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深める。 【思考・判断力、表現力等】 ・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々と関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するため実践しようする力を身につける。</p>	<p>・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方 ・共に生きる</p>	<p>【知識・技能】 ・高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々と関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実に資するため実践しようとしている。</p>	○	○	○	9	
	定期考査			○	○		1	
							合計	70